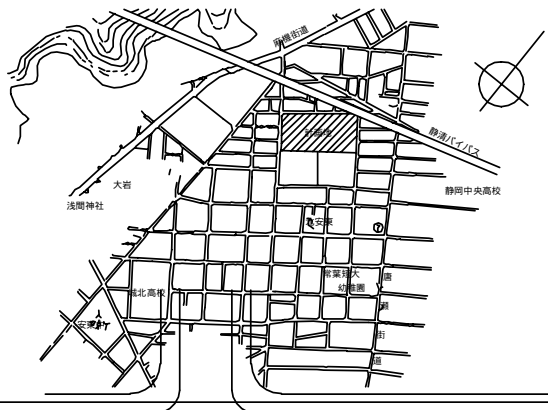
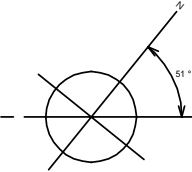
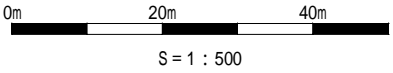


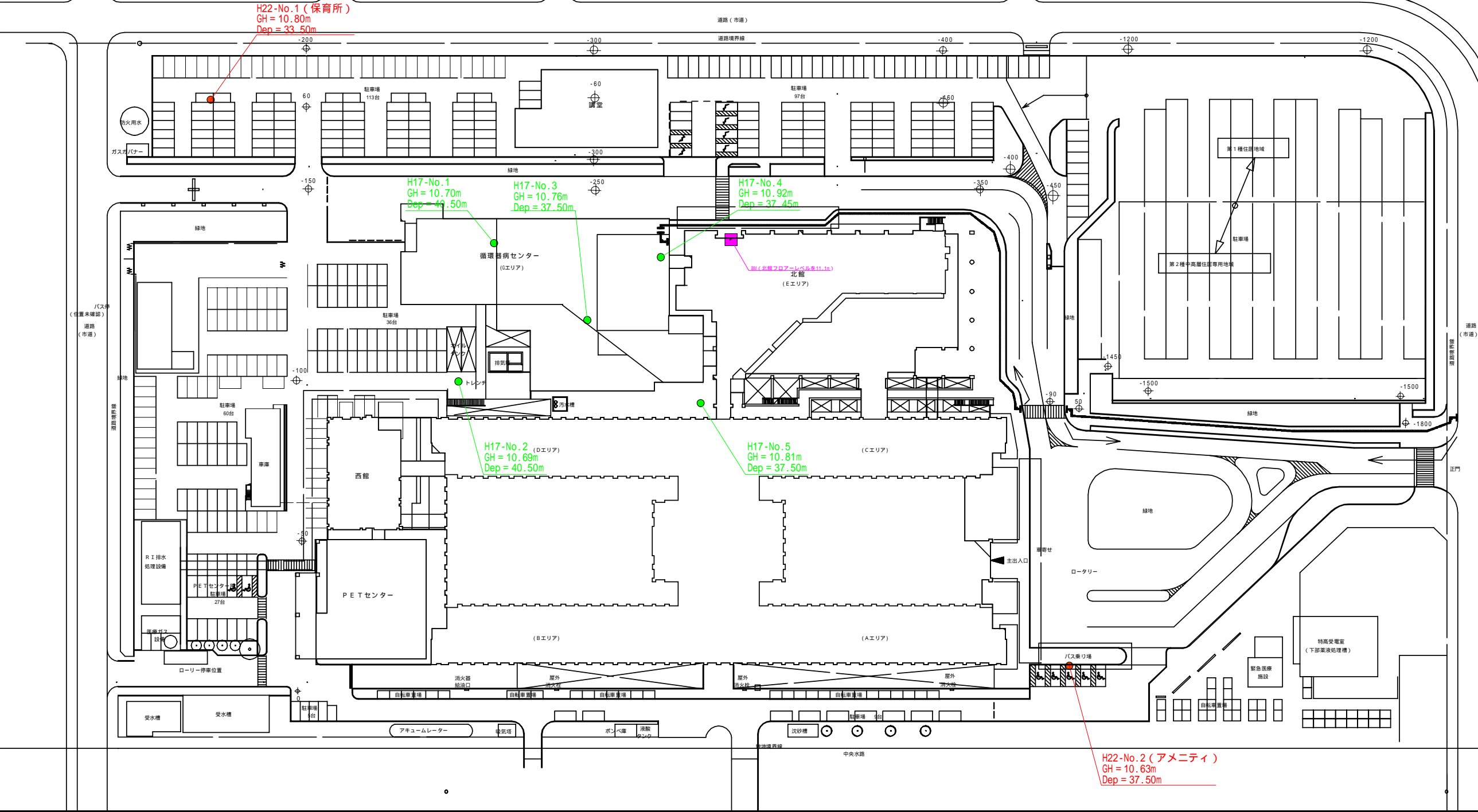
案内図



# ボーリング位置図



- 今回実施 (This time implementation)
- H17年度実施 (H17 fiscal year implementation)



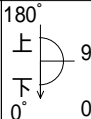
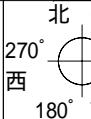
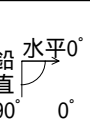
ボーリング柱状図

調 査 名

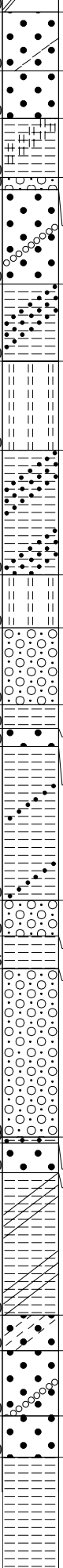
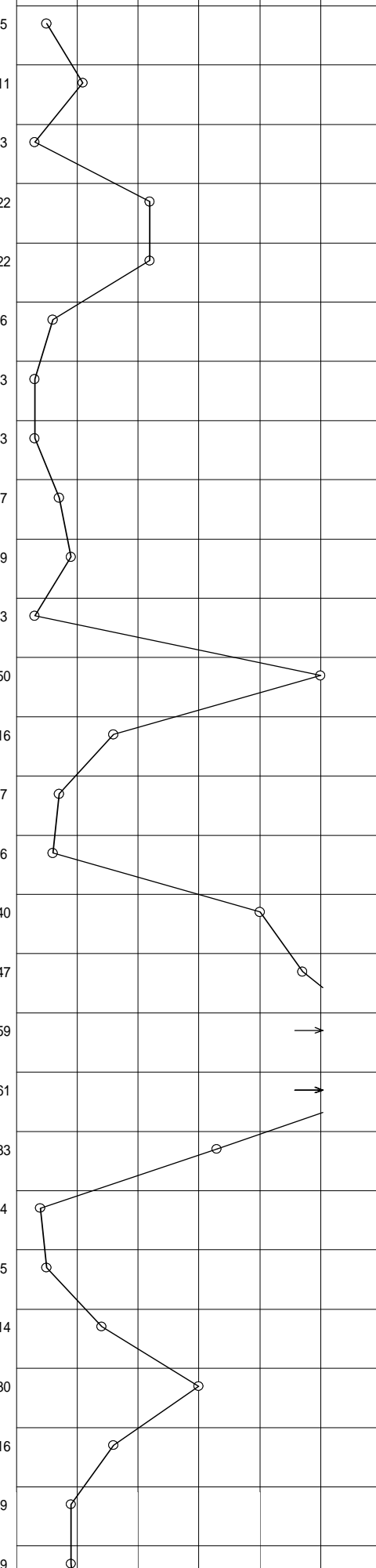
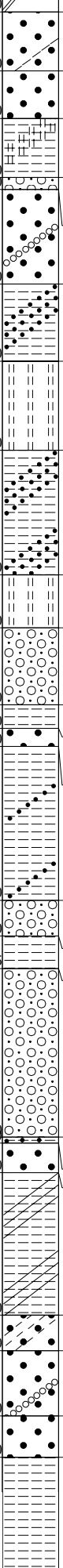
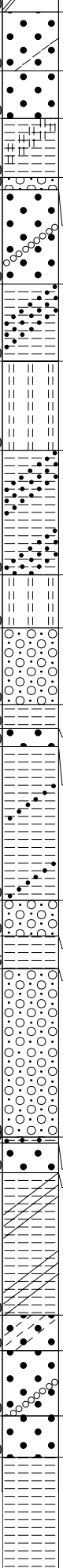
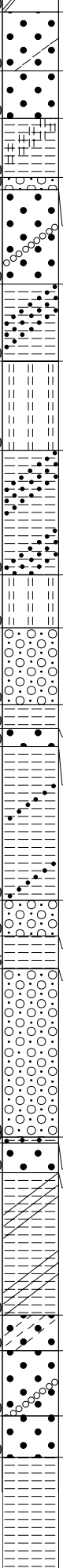
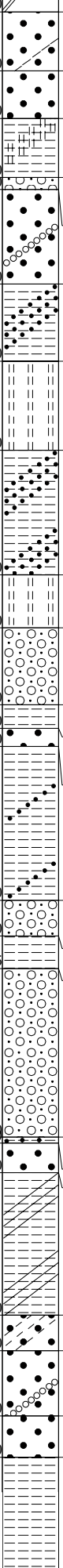
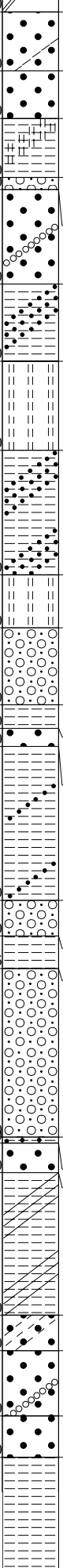
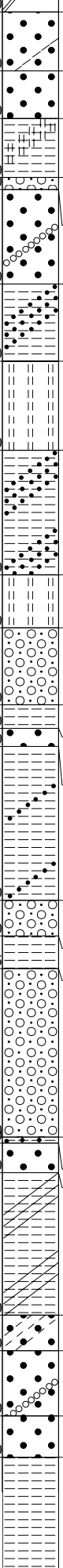
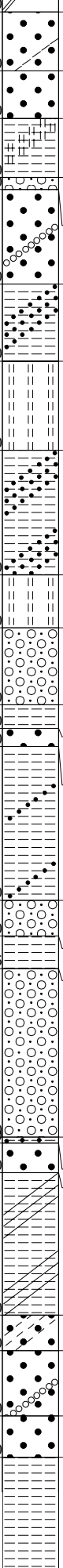
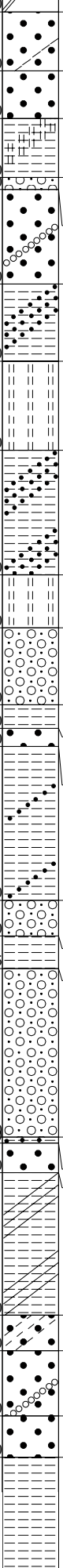
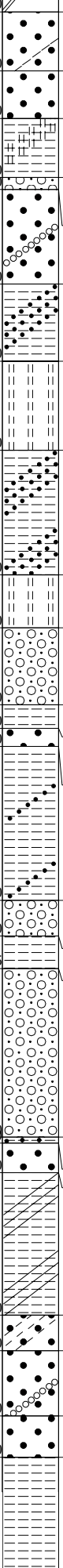
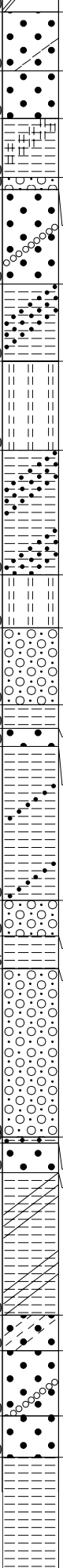
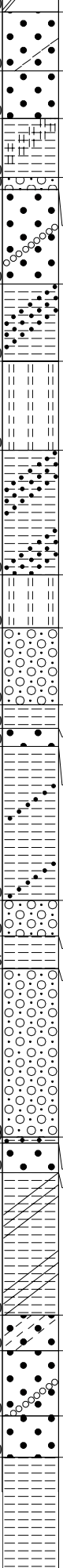
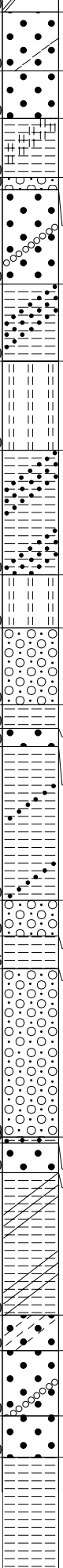
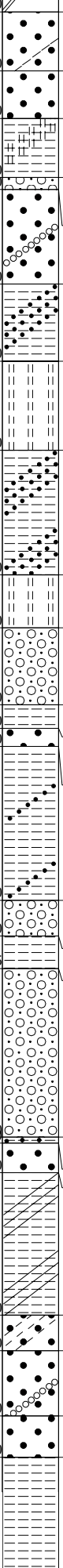
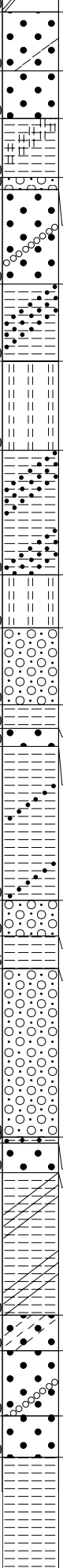
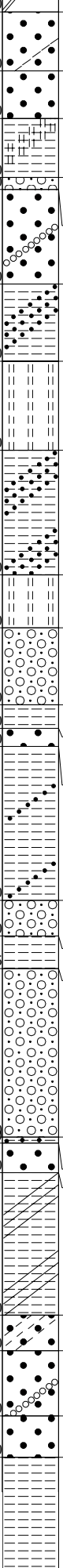
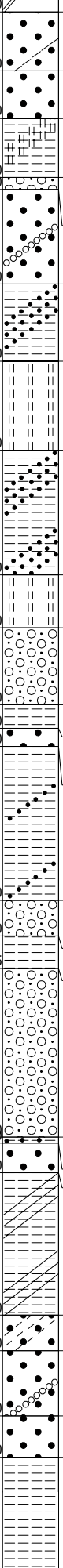
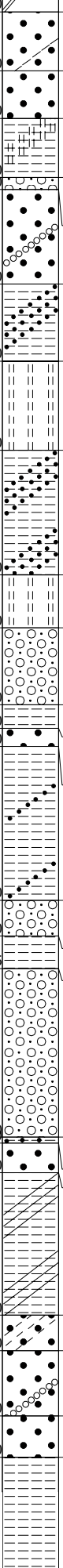
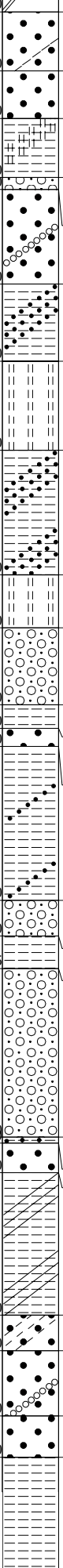
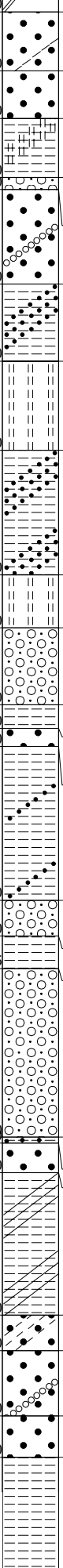
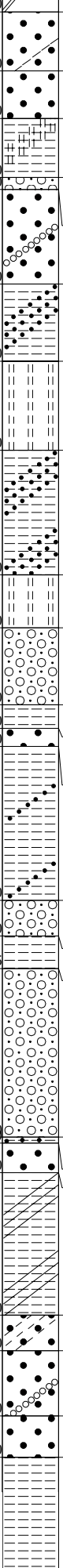
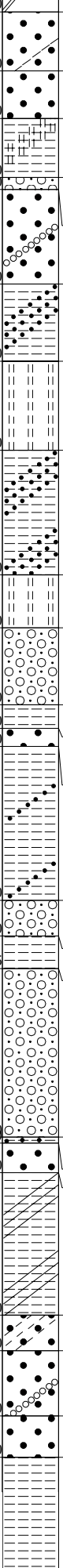
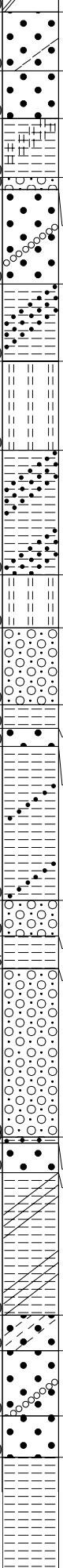
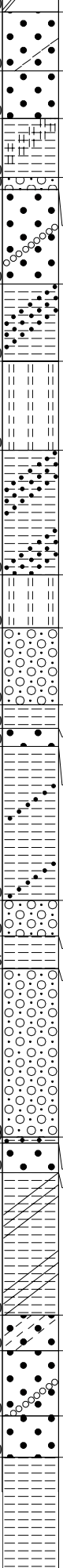
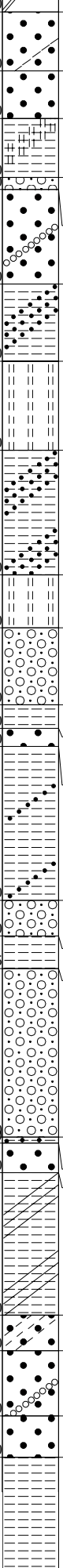
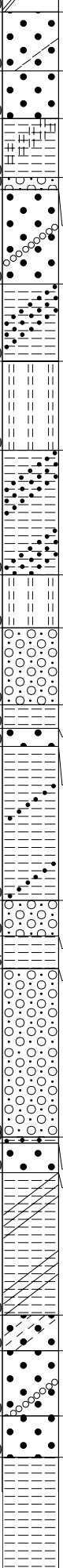
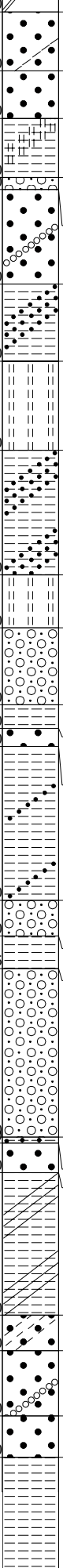
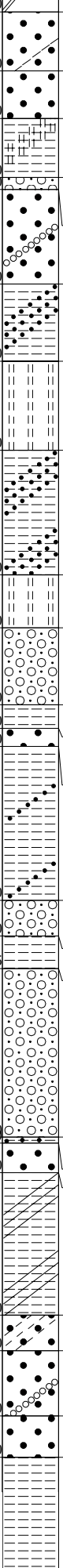
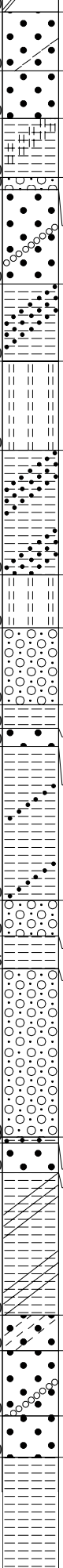
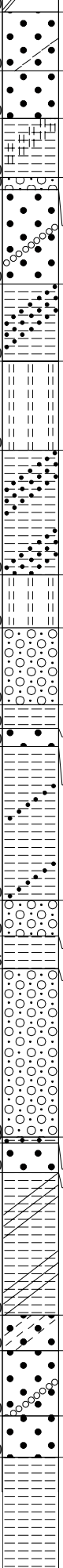
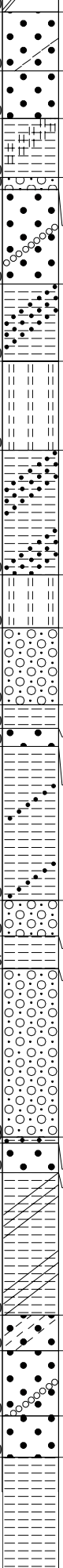
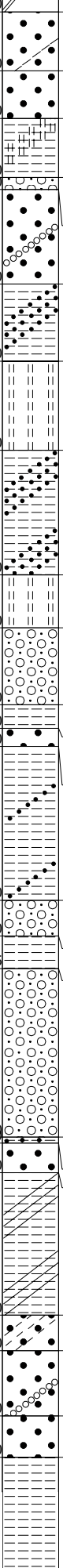
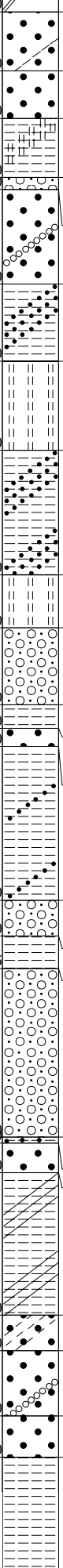
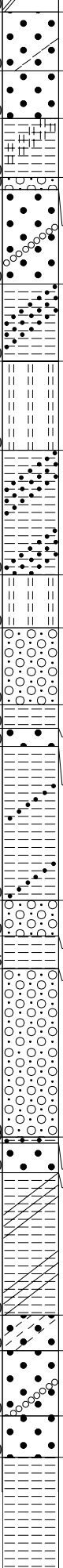
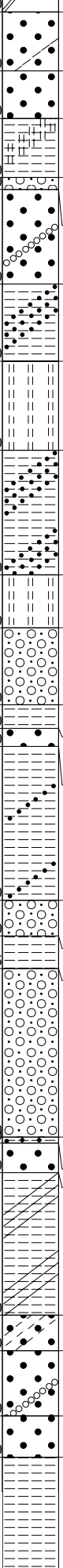
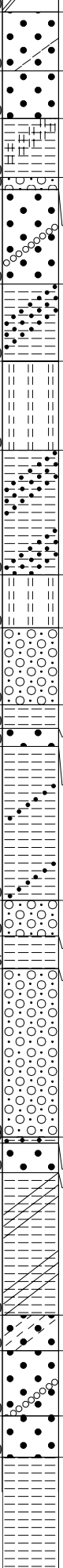
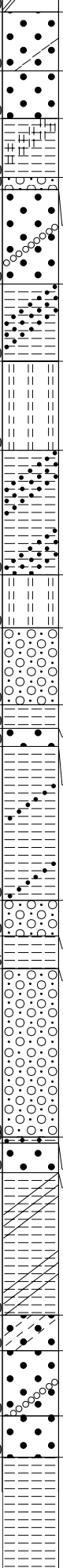
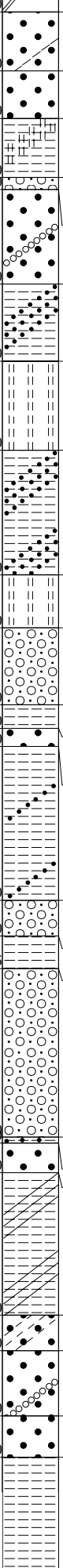
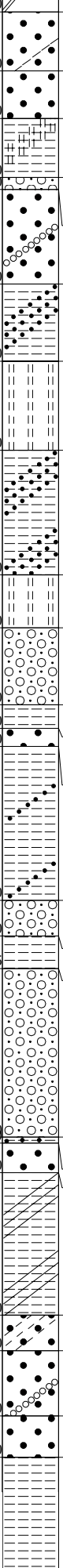
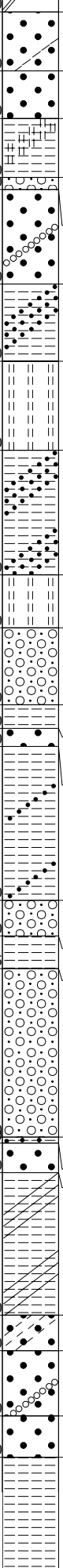
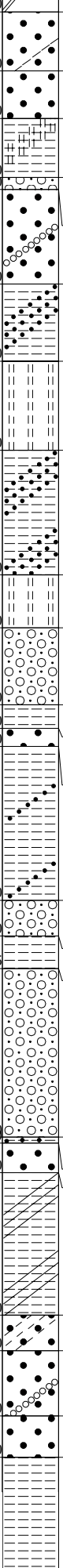
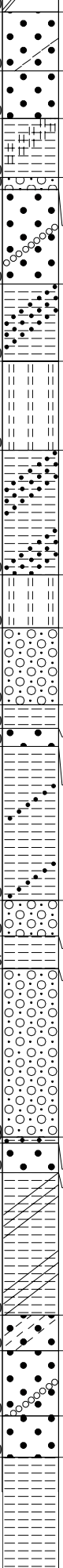
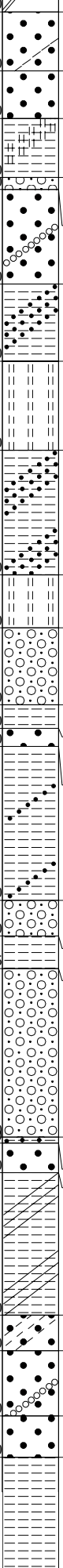
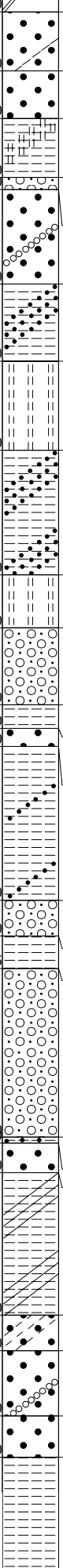
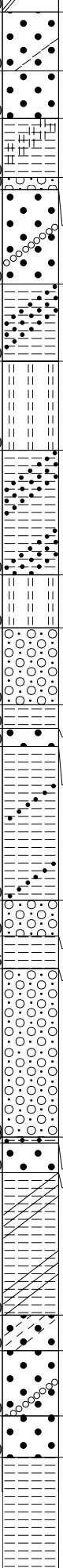
ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No.1 ( 保育所 )			調査位置		静岡市葵区北安東4丁目27番1号					北緯		35° 0' 12.2"				
発注機関	地方独立行政法人静岡県立総合病院					調査期間		平成 23年 2月 19日 ~ 23年 2月 23日					東経		138° 23' 4.9"		
調査業者名						現場代理人		コア鑑定者			ボーリング責任者						
孔口標高	GH = 10.80m	角 	方 向		地盤勾配 	使用機種	試錐機		KR - 100p		ハンマー落下用具	半自動落下装置					
総掘進長	33.50m						エンジン		NFD - 10		ポンプ	V - 4					

標尺	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色相対調度度	相対稠密度	記事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験						原位置試験		試料採取			室内試験 (月 日)	掘進 月 日
										深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数			打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値	深 度 (m)	試験名 および結果	深 度 (m)	試料 番号	採取 方法		
											0 10	10 20	20 30									

1	9.70	1.10	1.10		盛土	褐灰		地表3cmはアスファルト。以下シルト混じり砂礫。礫は 2~30mm程度の亜円礫主体。maxは50mm程度。	2/19 1.60	1.15	2	1	2	5/30	5		7.20	孔内水平載荷試験 2132kN/m2	1.15	P-1	-	物理	
2	8.70	1.00	2.10		シルト混じり砂	暗灰	緩い	細砂主体。全体にシルトを少量混入する。		1.45	4	4	3	11/30	11				1.45				
					砂	暗灰	中ぐらい	細砂~中砂主体。20mm程度の亜円礫を部分的に少量混入。シルトを全体に少量混入。		2.15								2.15	P-2	-	物理		
3	7.90	0.80	2.90		有機質シルト	暗灰		軟らかいシルト。未分解の有機物を多く混入し、部分的に腐植土状を呈する。		2.45	1	1	1	3/30	3				2.45				
					有機質シルト	暗灰		軟らかいシルト。未分解の有機物を多く混入し、部分的に腐植土状を呈する。		3.15								3.15	P-3	-			
4	6.90 6.70	1.00 0.20	3.90 4.10		砂礫	暗灰		2~30mm程度の亜円礫主体。礫間充填物は細砂~粗砂。細粒分は少ない。		3.45	6	7	9	22/30	22				3.45				
					砂礫	暗灰		2~30mm程度の亜円礫主体。礫間充填物は細砂~粗砂。細粒分は少ない。		4.15								4.15	P-4	-			
5					砂混じり砂	暗灰	中ぐらい	細砂~中砂主体。2~20mm程度の亜円礫を不規則に少量混入。シルトを少量混入。		4.45	8	6	8	22/30	22				4.45				
					砂混じり砂	暗灰	中ぐらい	細砂~中砂主体。2~20mm程度の亜円礫を不規則に少量混入。シルトを少量混入。		5.15								5.15	P-5	-	物理		
6	5.10	1.60	5.70		砂質シルト	暗灰		やや軟らかいシルトを優勢とし、全体に細砂を多く混入する。有機物を少量混入。		5.45	2	2	2	6/30	6				5.45				
					砂質シルト	暗灰		やや軟らかいシルトを優勢とし、全体に細砂を多く混入する。有機物を少量混入。		6.15								6.15	P-6	-	物理		
7	3.80	1.30	7.00		砂質シルト	暗灰		やや軟らかいシルトを優勢とし、細砂を全体に多く混入する。有機物を少量混入する。		6.45								6.45					
					砂質シルト	暗灰		やや軟らかいシルトを優勢とし、細砂を全体に多く混入する。有機物を少量混入する。		7.15	1	1	1	3/30	3			7.15	P-7	-			
8					有機質土	黒褐		分解の進んだ腐植土に未分解の有機物を多く混入する。下部はシルトが多くなる。		7.45								7.45					
					有機質土	黒褐		分解の進んだ腐植土に未分解の有機物を多く混入する。下部はシルトが多くなる。		8.15	1	1	1	3/30	3			8.15	P-8	-			
9	2.30	1.50	8.50		砂質シルト	暗灰		やや軟らかいシルトを優勢とし、細砂を全体に多く混入する。有機物を少量混入する。		8.45								8.45					
					砂質シルト	暗灰		やや軟らかいシルトを優勢とし、細砂を全体に多く混入する。有機物を少量混入する。		9.15	2	2	3	7/30	7			9.15	P-9	-	物理		
10	0.20	2.10	10.60		砂質シルト	暗灰		やや軟らかいシルトを優勢とし、細砂を全体に多く混入する。有機物を少量混入する。		9.45								9.45					
					砂質シルト	暗灰		やや軟らかいシルトを優勢とし、細砂を全体に多く混入する。有機物を少量混入する。		10.15	2	3	4	9/30	9			10.15	P-10	-			
11	-0.70	0.90	11.50		有機質土	黒		分解の進んだ腐植土に未分解の有機物を多く混入する。		10.45								10.45					
					有機質土	黒		分解の進んだ腐植土に未分解の有機物を多く混入する。		11.15	1	1	1	3/30	3			11.15	P-11	-			
12					砂礫	暗灰	密な	2~30mm程度の亜円礫主体。礫間充填物は中砂~粗砂が目立つ。細粒分は少ない。		11.45								11.45					
					砂礫	暗灰	密な	2~30mm程度の亜円礫主体。礫間充填物は中砂~粗砂が目立つ。細粒分は少ない。		12.15	20	16	14	50/30	50			12.15	P-12	-			
13	-2.40 -2.70	0.40 0.30	13.20 13.50		シルト	暗灰		やや硬いシルト。有機物を少量混入。		12.45								12.45					
					シルト	暗灰		やや硬いシルト。有機物を少量混入。		13.15	1	7	8	16/30	16			13.15	P-13	-	物理		
14					砂	暗灰		細砂~中砂主体。シルトをブロック状に混入。10mm程の礫を少量混入。		13.45								13.45					
					砂	暗灰		細砂~中砂主体。シルトをブロック状に混入。10mm程の礫を少量混入。		14.15	2	2	3	7/30	7			14.15	P-14	-			
15					砂混じりシルト	暗灰		やや硬いシルトを主体とし、一部粘り気が強い。細砂をシーム状に不規則に混入する。有機物、炭化物を少量混入する。		14.45								14.45					
					砂混じりシルト	暗灰		やや硬いシルトを主体とし、一部粘り気が強い。細砂をシーム状に不規則に混入する。有機物、炭化物を少量混入する。		15.15	2	2	2	6/30	6			15.15	P-15	-			
16	-5.30	2.60	16.10		砂混じりシルト	暗灰		やや硬いシルトを主体とし、一部粘り気が強い。細砂をシーム状に不規則に混入する。有機物、炭化物を少量混入する。		15.45								15.45					
					砂混じりシルト	暗灰		やや硬いシルトを主体とし、一部粘り気が強い。細砂をシーム状に不規則に混入する。有機物、炭化物を少量混入する。		16.15	11	14	15	40/30	40			16.15	P-16	-			
17	-5.90 -6.45	0.60 0.55	16.70 17.25		砂礫	暗灰	密な	2~30mm程度の亜円礫主体。礫間充填物は中砂~粗砂が目立つ。有機物少量混入。		16.45								16.45					
					砂礫	暗灰	密な	2~30mm程度の亜円礫主体。礫間充填物は中砂~粗砂が目立つ。有機物少量混入。		17.15	2	20	25	47/30	47			17.15	P-17	-			
18					シルト	褐		やや硬いシルト。有機物を少量混入。		17.45								17.45					
					シルト	褐		やや硬いシルト。有機物を少量混入。		18.15	19	23	17	59/30	59			18.15	P-18	-			
19					砂礫	暗灰	非常に密な	2~30mm程度の亜円礫~亜角礫主体。礫間充填物は細砂~粗砂が目立つ。細粒分は少ない。		18.45								18.45					
					砂礫	暗灰	非常に密な	2~30mm程度の亜円礫~亜角礫主体。礫間充填物は細砂~粗砂が目立つ。細粒分は少ない。		19.15	14	15	32	61/30	61			19.15	P-19	-			
20	-8.40 -9.40	3.85 0.50	20.20 20.70		砂質シルト	暗灰		やや硬いシルト。細砂を多く混入。有機物少量混入。		19.45								19.45					
					砂質シルト	暗灰		やや硬いシルト。細砂を多く混入。有機物少量混入。		20.15	4	10	19	33/30	33			20.15	P-20	-	物理		
21	-9.90	0.50	20.70		砂質シルト	暗灰		細砂主体。粒径は均一である。		20.45								20.45					
					砂質シルト	暗灰		細砂主体。粒径は均一である。		21.15	1	2	1	4/30	4			21.15	P-21	-			
22					粘土質シルト	暗灰		やや硬いシルトを主体。見かけ上は均一である。所々、粘り気が強くなる。有機物を少量混入する。		21.45								21.45					
					粘土質シルト	暗灰		やや硬いシルトを主体。見かけ上は均一である。所々、粘り気が強くなる。有機物を少量混入する。		22.15	1	2	2	5/30	5			22.15	P-22	-			
23	-12.30 -12.90	2.40 0.60	23.10 23.70		シルト質砂	暗灰	中ぐらい	細砂を優勢とする。軟らかいシルトを多く混入。		22.45								22.45					
					シルト質砂	暗灰	中ぐらい	細砂を優勢とする。軟らかいシルトを多く混入。		23.15													

[illegible]

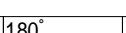
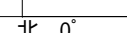
ボーリング柱状図

調 査 名

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. 2 ( ア メ ニ テ ィ )			調査位置		静岡県葵区北安東4丁目27番1号					北緯		35° 0' 0.4"				
発注機関	地方独立行政法人静岡県立総合病院					調査期間		平成 23年 2月 19日 ~ 23年 2月 21日					東経		138° 23' 25.1"		
調査業者名						現 場 代 理 人				コ ア 鑑 定 者		ボーリング 責 任 者					
孔口標高	GH = 10.63m	角 	方 北 0° 270° 90° 西 東 180° 南 向		地盤 勾 配 鉛直 90° 水平 0° 0°	使用 機 種	試錐機		KR - 100P		ハンマー 落下用具	半自動落下装置					
総掘進長	37.50m						度	0°	エンジン						NFD - 10		ポンプ

標尺	標高	層厚	深度	柱状	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m) / 測定月日	標準貫入試験						原位試験		試料採取		室内試験(掘進月日)						
											深度	10cmごとの打撃回数			打撃回数 / 貫入量	N値	深度	試験名および結果	深度	試験番号		採取方法					
												0	10	20									(m)	(m)	(m)	(m)	
	(m)	(m)	(m)	図							(m)	10	20	30	(cm)												
1					盛土	褐、暗灰、緑灰			3層よりなる。地表4cmはアスファルト。GL - 0.40mまではシルト混じり砂礫(褐色)。礫は 2~30mm程度で、maxは60mm程度。GL - 0.40~1.90m間は砂混じりシルト(暗灰)からなる。シルトは軟らかく、有機物を少量混入する。また、不規則に 20mm程度の礫を少量混入。GL - 1.90~2.70m間はシルト混じり砂礫(緑灰)からなる。礫は 2~40mm程度の亜角礫を主体とし、10mm程度のコンクリートガラを混入。シルトは軟らかい。細砂主体。	2/19 2.70	1.15	1	2	2	5/30	5					1.15	P-1	-				
2	7.83	3.78	2.88									1.45			2.15	2	2	2	6/30	6				2.15	P-2	-	
3												2.45			3.15	1	1	1	3/30	3				2.45			
4	6.93	0.90	3.70		砂	暗灰			GL - 1.90~2.70m間はシルト混じり砂礫(緑灰)からなる。礫は 2~40mm程度の亜角礫を主体とし、10mm程度のコンクリートガラを混入。シルトは軟らかい。細砂主体。		3.45									3.45							
5					シルト	暗灰~褐		軟らかい	非常に軟らかいシルト。有機物を少量混入し、GL - 3.5m以は有機質土となる。		4.15	2	2	4	8/30	8	4.00	孔内水平載荷試験 3403kN/m2	4.15	P-4	-	物理					
6	4.83	2.10	5.80		シルト質砂	暗灰		緩い	細砂~中砂優勢。下部ほど粒径が大きく、砂の混入量も多くなる。有機物を少量混入する。シルトは軟らかく、混入は不規則である。GL - 5.10m、5.50m付近は層厚5cm以下の砂礫層を挟む。礫は 2~10mm程度。		4.45						4.60			4.45							
7	4.23	0.60	6.40		シルト	暗灰		中位	細砂~中砂優勢。下部ほど粒径が大きく、砂の混入量も多くなる。有機物を少量混入する。シルトは軟らかく、混入は不規則である。GL - 5.10m、5.50m付近は層厚5cm以下の砂礫層を挟む。礫は 2~10mm程度。		5.15	2	2	4	8/30	8			5.15	P-5	-	物理					
8	2.73	1.50	7.90		シルト	暗灰		中位	やや硬いシルトで、GL - 6.1m付近までは細砂をシーム状に挟む。有機物を少量混入。		5.45									5.45							
9	1.73	1.00	8.90		有機質土	褐		軟らかい	未分解の有機物を多く混入する腐植土層。指でこねると急激に軟らかくなる。		6.15	2	2	2	6/30	6			6.15	P-6	-						
10	1.53	0.20	9.10		シルト	暗灰~黒褐		軟らかい	軟らかいシルト。所々有機物が多く一部は有機質土を挟む。下部は細砂を混入		6.45								6.45								
11	1.03	0.50	9.60		砂混じりシルト	暗灰			軟らかいシルト。有機物を混入。砂は細砂主体。		7.15	1/20	1		2/30	2			7.15	P-7	-						
12	0.53	0.50	10.10		シルト質砂	暗灰		緩い	細砂主体。有機物少量混入。シルトは軟らかい。GL - 9.3m付近砂礫挟む。		7.45								7.45								
13	-0.07	0.60	10.70		砂	暗灰			細砂主体。シルトの薄層挟む。		8.15	1	1	2	4/30	4			8.15	P-8	-						
14	-0.32	0.25	10.95		砂混じりシルト	暗灰		軟らかい	軟らかいシルト。局所的に有機質土を挟む。砂は細砂主体。		8.45								8.45								
15	-1.87	1.55	12.50		砂	暗灰			掘削状況で判断。2~20mm程度の亜角礫~亜円礫主体。礫間充填物は中砂~粗砂が目立つ。細粒分は少ない。GL - 11.50m付近までは有機物を混入する。		9.15	2	2	3	7/30	7			9.15	P-9	-	物理					
16	-2.27	0.40	12.90		シルト	暗灰		中位	掘削状況より判断。細砂~中砂主体。有機物を混入。シルトを薄く挟む。		9.45								9.45								
17	-3.37	1.10	14.00		砂	暗灰			細砂主体。シルトの薄層挟む。		10.15	1	1	2	4/30	4			10.15	P-10	-						
18	-4.17	0.80	14.80		シルト質砂	暗灰		中位	細砂~中砂主体。有機物を混入。シルトを薄く挟む。		10.45								10.45								
19	-5.07	0.90	15.70		砂	暗灰			掘削状況で判断。2~20mm程度の亜角礫~亜円礫主体。礫間充填物は中砂~粗砂が目立つ。細粒分は少ない。GL - 11.50m付近までは有機物を混入する。		11.15	8	8	10	26/30	26			11.15	P-11	-	物理					
20	-7.27	2.20	17.90		砂	暗灰			掘削状況より判断。細砂~中砂主体。有機物を混入。シルトを薄く挟む。		11.45								11.45								
21	-8.67	1.40	19.30		砂	暗灰			掘削状況で判断。2~20mm程度の亜角礫~亜円礫主体。礫間充填物は中砂~粗砂が目立つ。細粒分は少ない。少量泥水が漏水する。		12.15	8	9	7	24/30	24			12.15	P-12	-						
22	-9.97	1.30	20.60		シルト	暗灰		中位	掘削状況より判断。細砂~中砂主体。有機物を混入。シルトを薄く挟む。		12.45								12.45								
23	-11.17	1.20	21.80		砂	暗灰			掘削状況で判断。2~20mm程度の亜角礫~亜円礫主体。礫間充填物は中砂~粗砂が目立つ。細粒分は少ない。少量泥水が漏水する。		13.15	3	5	5	13/30	13			13.15	P-13	-	物理					
24	-11.57	0.40	22.20		シルト	暗灰		中位	掘削状況より判断。細砂~中砂主体。有機物を混入。シルトを薄く挟む。		13.45	2	2	2	6/30	6			13.45								
25	-12.07	0.50	22.70		砂	暗灰			掘削状況より判断。細砂~中砂主体。有機物を混入。シルトを薄く挟む。		14.15	2	2	2	6/30	6			14.15	P-14	-						
26	-12.47	0.40	23.10		シルト	暗灰		中位	掘削状況より判断。細砂~中砂主体。有機物を混入。シルトを薄く挟む。		14.45								14.45								
27	-12.97	0.50	23.60		砂	暗灰			掘削状況より判断。2~20mm程度の亜角礫~亜円礫主体。礫間充填物は中砂~粗砂が目立つ。細粒分は少ない。泥水が少量漏水する。		15.15	14	15	16	45/30	45			15.15	P-15	-						
28	-13.62	0.65	24.25		シルト	暗灰		中位	掘削状況より判断。細砂~中砂主体。有機物を混入。シルトを薄く挟む。		15.45								15.45								
29	-14.97	1.35	25.60		砂	暗灰			掘削状況より判断。2~20mm程度の亜角礫~亜円礫主体。礫間充填物は中砂~粗砂が目立つ。細粒分は少ない。泥水が少量漏水する。		16.15	3	2	3	8/30	8			16.15	P-16	-	物理					
30					シルト	暗灰		中位	掘削状況より判断。細砂~中砂主体。有機物を混入。シルトを薄く挟む。		16.45								16.45								
31					砂	暗灰			掘削状況より判断。2~20mm程度の亜角礫~亜円礫主体。礫間充填物は中砂~粗砂が目立つ。細粒分は少ない。泥水が少量漏水する。		17.15	2	2	5	9/30	9			17.15	P-17	-						
32					シルト	暗灰		中位	掘削状況より判断。細砂~中砂主体。有機物を混入。シルトを薄く挟む。		17.45								17.45								
33					砂	暗灰			掘削状況より判断。2~20mm程度の亜角礫~亜円礫主体。礫間充填物は中砂~粗砂が目立つ。細粒分は少ない。泥水が少量漏水する。		18.15	17	17	20	54/30	54			18.15	P-18	-						
34					シルト	暗灰		中位	掘削状況より判断。細砂~中砂主体。有機物を混入。シルトを薄く挟む。		18.45								18.45								
35					砂	暗灰			掘削状況より判断。2~20mm程度の亜角礫~亜円礫主体。礫間充填物は中砂~粗砂が目立つ。細粒分は少ない。泥水が少量漏水する。		19.15	10	9	7	26/30	26			19.15	P-19	-						
36					シルト	暗灰		中位	掘削状況より判断。細砂~中砂主体。有機物を混入。シルトを薄く挟む。		19.45								19.45								
37					砂	暗灰			掘削状況より判断。2~20mm程度の亜角礫~亜円礫主体。礫間充填物は中砂~粗砂が目立つ。細粒分は少ない。泥水が少量漏水する。		20.15	7	8	7	22/30	22			20.15	P-20	-	物理					
38					シルト	暗灰		中位	掘削状況より判断。細砂~中砂主体。有機物を混入。シルトを薄く挟む。		20.45								20.45								
39					砂	暗灰			掘削状況より判断。2~20mm程度の亜角礫~亜円礫主体。礫間充填物は中砂~粗砂が目立つ。細粒分は少ない。泥水が少量漏水する。		21.15	2	2	2	6/30	6			21.15	P-21	-						
40					シルト	暗灰		中位	掘削状況より判断。細砂~中砂主体。有機物を混入。シルトを薄く挟む。		21.45								21.45								
41					砂	暗灰			掘削状況より判断。2~20mm程度の亜角礫~亜円礫主体。礫間充填物は中砂~粗砂が目立つ。細粒分は少ない。泥水が少量漏水する。		22.15	4	3	3	10/30	10			22.15	P-22	-						
42					シルト	暗灰		中位	掘削状況より判断。細砂~中砂主体。有機物を混入。シルトを薄く挟む。		22.45								22.45								
43					砂	暗灰			掘削状況より判断。2~20mm程度の亜角礫~亜円礫主体。礫間充填物は中砂~粗砂が目立つ。細粒分は少ない。泥水が少量漏水する。		23.15	7	8	12	27/30	27			23.15	P-23	-						
44					シルト	暗灰		中位	掘削状況より判断。細砂~中砂主体。有機物を混入。シルトを薄く挟む。		23.45								23.45								
45					砂	暗灰			掘削状況より判断。2~20mm程度の亜角礫~亜円礫主体。礫間充填物は中砂~粗砂が目立つ。細粒分は少ない。泥水が少量漏水する。		24.15	6	2	4	12/30	12			24.15	P-24	-						
46					シルト	暗灰		中位	掘削状況より判断。細砂~中砂主体。有機物を混入。シルトを薄く挟む。		24.45								24.45								
47					砂	暗灰			掘削状況より判断。2~20mm程度の亜角礫~亜円礫主体。礫間充填物は中砂~粗砂が目立つ。細粒分は少ない。泥水が少量漏水する。		25.15	3	3	4	10/30	10			25.15	P-25	-						
48					シルト	暗灰		中位	掘削状況より判断。細砂~中砂主体。有機物を混入。シルトを薄く挟む。		25.45								25.45								
49					砂	暗灰			掘削状況より判断。2~20mm程度の亜角礫~亜円礫主体。礫間充填物は中砂~粗砂が目立つ。細粒分は少ない。泥水が少量漏水する。		26.15	2	3	3	8/30	8			26.15	P-26	-						
50					シルト	暗灰		中位	掘削状況より判断。細砂~中砂主体。有機物を混入。シルトを薄く挟む。		26.45																





# ボーリング柱状図

## 調査名

ボーリングNo 1

事業・工事名 (BMは、北館のフロアーレベルを11.10mとする)

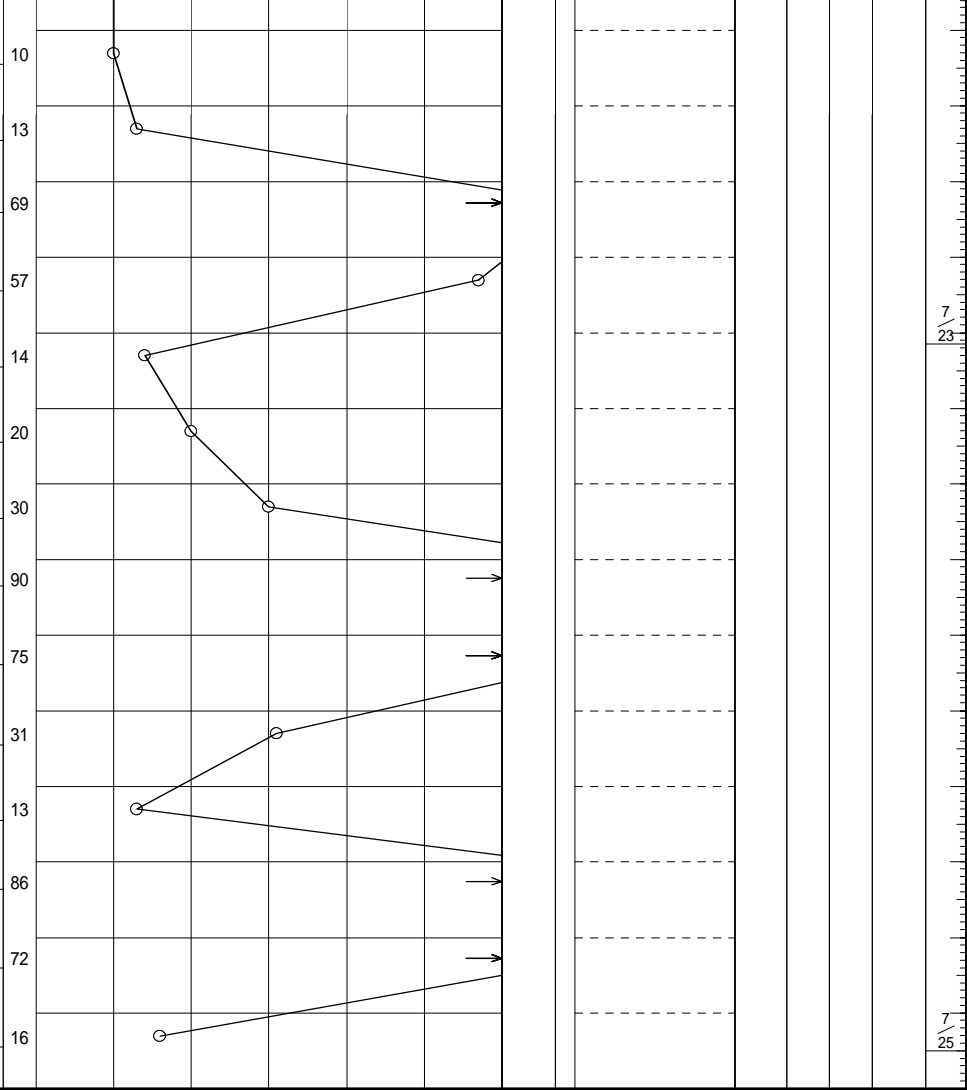
シート No 1

ボーリング名	B - No . 1				調査位置		静岡県静岡市 葵区北安東 地先					北緯		35° 0' 12.0"					
発注機関							調査期間		平成 17年 7月 21日 ~ 17年 7月 25日					東経		138° 23' 7.0"			
調査業者名							現代理人		コ ア 鑑 定 者					ボーリング責任者					
孔口標高	10.70m	角 180° 上 90° 下 0° 度		方 270° 西 0° 東 180° 南 向		地盤勾配 鉛直 90° 水平0° 0°	使用機種	試錐機			KR - 100		ハンマー落下用具		半自動落下装置				
総掘進長	40.50m							エンジン			NFD - 10H		ポンプ		V6 - P				

[illegible]

27				シルト	暗灰		硬い	含水比は「中位～低位」。粘性は「強い」。所々、貝殻片を混入する。
28	-17.65	2.45	28.35					
	-18.20	0.55	28.90	砂	暗灰			微細砂を主体とする。
29								
30				砂礫	暗灰	非常に密な		径2～20mm程度の垂円礫を主体とし、細砂～粗砂をマトリックスとする。
31	-20.30	2.10	31.00					
32				シルト	暗灰		硬い～非常に硬い	含水比は「中位」。粘性は「中位～強い」。上部付近微細砂層を挟在する。少量の腐植物及び炭化物を混入する。若干の細砂分を混入する部分あり。
33	-22.15	1.85	32.85					
	-22.90	0.75	33.60	砂	暗灰	密な		均質な微細砂を主体とし、シーム状にシルトの薄層を挟在する。一部小礫を混入する。
34								
35				砂礫	暗灰	非常に密な		径2～20mm程度の垂円礫を主体とし、細砂～粗砂をマトリックスとする。
36	-25.10	2.20	35.80					
				砂	暗灰	密な		均質な微細砂を主体とし、レンズ状にシルトの薄層を挟在する。シルト層内には腐植物を混入する。
37	-26.30	1.20	37.00					
38	-27.40	1.10	38.10	シルト	暗灰		硬い	含水比は「低位」。粘性は「弱い」。若干の砂分及び腐植物、炭化物を混入する。
39								
	-28.80	1.40	39.50	砂礫	暗灰	非常に密な		径2～20mm程度の垂円礫を主体とし、細砂～粗砂をマトリックスとする。
40								
	-29.80	1.00	40.50	シルト	暗灰		非常に硬い	含水比は「中位～低位」。粘性は「強い」。

27.15	3	3	4	10/30
27.45				
28.15	3	4	6	13/30
28.45				
29.15	18	26	16/6	60/26
29.41				
30.15	19	18	20	57/30
30.45				
31.15	4	4	6	14/30
31.45				
32.15	5	7	8	20/30
32.45				
33.15	8	9	13	30/30
33.45				
34.15	28	32		60/20
34.35				
35.15	23	27	10/4	60/24
35.39				
36.15	7	11	13	31/30
36.45				
37.15	4	4	5	13/30
37.45				
38.15	20	34	6/1	60/21
38.36				
39.15	27	25	8/5	60/25
39.40				
40.15	5	5	6	16/30
40.45				



# ボーリング柱状図

## 調査名

ボーリングNo 2

事業・工事名 (BMは、北館のフロアーレベルを11.10mとする)

シート No 2

ボーリング名	B - No. 2			調査位置		静岡県静岡市 葵区北安東 地先						北緯	35° 0' 11.0"		
発注機関						調査期間	平成 17年 7月 18日 ~ 17年 7月 20日					東経	138° 3' 9.0"		
調査業者名						現場代理人				コア鑑定者			ボーリング責任者		
孔口標高	10.69m	角 	方 	地盤勾配 	使用機種	試錐機	KR - 100			ハンマー落下用具	半自動落下装置				
総掘進長	40.50m					度	向		エンジン	NFD - 9			ポンプ	V - 4	

標尺	標高	層厚	深度	柱状	土質区分	色調	相對密度	相對稠度	記事	孔内水位(m) / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験		試験採取		室内試験(掘進月日)								
											深度	10cmごとの打撃回数			打撃回数 / 貫入量	深度	試験名および結果	深度	試験料番号		採取方法							
												0	10	20								(m)	(m)	(m)	(m)			
(m)	(m)	(m)	(m)	図	分	調	度	度	事		(m)	10	20	30	(cm)		(m)		(m)	号	法	( )						
1					盛土	暗灰、暗褐			表部アスファルト約3cm。 GL-3.80mまで10-50mmの亜角礫を混在するシルト質砂礫状。 GL-1.50m-3.80m区間は「ガサガサ」状。 GL-3.80m以深はシルト質砂礫を主体とし、粘性土を不均質に混入するものの、泥水掘削においては逸泥が著しい。	7/18 3.30	1.15	1	1	3	5/30	5												
2											1.45					2.15	4	4	3	11/30	11							
3											2.45					3.15	5	5	5	15/30	15							
4											3.45					4.15	1	1	1	3/30	3							
5											4.45					5.15	1/20	1		2/30	2							
6	4.39	6.30	6.30								6.70	腐植土	黒褐			黒泥状を化す。含水中～高位。		6.15	11	2	1	14/30	14					
7	3.99	0.40			砂質シルト	暗灰		中位	細砂の混入は不均質にある。腐植物を少量混入する。含水比は「中位」。粘性は「弱い」。		7.15	1	2	2	5/30	5												
8	2.89	1.10			シルト	暗灰		軟らかい	含水は「中位」。粘性は「弱い」。腐植物を少量混入する。		7.45	1	1	1	3/30	3												
9	1.69	1.20			シルト	暗灰					8.15	1	1	1	3/30	3												
10					シルト混じり砂	暗灰		緩い～中ぐらい	シルトの混入は不均質にあり、5cm程度のシルト薄層も部分的に挟在する。砂は細砂を主体とするが、粗砂の挟在も見られる。腐植物を少量混入する。		8.45	1	3	3	7/30	7												
11	-0.11	1.80			砂混じりシルト	暗灰		中位	含水比は「中位」。粘性は「中位」。細砂を薄層にて少量挟在。腐植物を少量混入し、部分的に腐植土質状を示す。		9.15	4	5	7	16/30	16												
12	-1.21	1.10			シルト混じり砂	暗灰		中ぐらい	細砂を主体とし、部分的に砂混じりシルトを挟在。腐植物を少量混入。		10.15	2	2	2	6/30	6												
13	-2.21	1.00			シルト	暗灰		中位	含水比は「低～中位」。粘性は「弱い」。一部腐植土質状を示す。		11.15	4	3	4	11/30	11												
14	-2.81	0.60			砂礫	暗灰		密な	2～20mm程度の亜角～亜円礫を主体とし、細砂～粗砂をマトリックスとする。		12.15	2	2	2	6/30	6												
15	-3.81	1.00			シルト	暗灰			含水比は「中位」。粘性は「中位」。掘削にて確認した。		12.45	15	14	10	39/30	39												
16	-4.21	0.40			シルト質砂	暗灰		中ぐらい	細砂を優勢とするシルトとの互層状。腐植物をわずかに混入。		13.15	4	4	5	13/30	13												
17	-5.21	1.00			砂礫	暗灰		密な	2～20mm程度の亜円礫を主体とし、細砂～粗砂をマトリックスとする。		13.45	12	12	15	39/30	39												
18	-6.41	1.20			シルト	暗灰		硬い	含水比は「低位～中位」。粘性は「弱い」。腐植物を少量混入する。		14.15	3	3	3	9/30	9												
19	-7.61	1.20			シルト混じり砂	暗灰			シルトを薄層にて少量挟在。GL-8.40mより2～5mm程度の礫を少量混在。		14.45	7	12	14	33/30	33												
20	-7.81	0.20			砂礫	暗灰		非常に密な	2～10mm程度の亜円礫を主体とし、細砂～粗砂をマトリックスとする。全体的に砂分が多い。		15.15	20	20	16	56/30	56												
21	-9.01	1.20			シルト質砂	暗灰		中ぐらい	細砂をやや優勢とし、シルトをシーム状または不均質にて混入する。含水比は「低～中位」。腐植物をわずかに混入する。		15.45	3	4	4	11/30	11												
22	-9.81	0.80			シルト	暗灰					16.15	3	2	3	8/30	8												
23	-10.21	0.40			砂質シルト	暗灰		硬い、非常に硬い	含水比は「低位～中位」。粘性は「弱い」。砂質シルトを主体とし、所々、細砂の薄層を挟在する。また部分的にシルト分を2～5cm程度の薄層にて挟在する。		17.15	5	6	6	17/30	17												
24											22.15	3	4	6	13/30	13												
25											23.15	5	5	7	17/30	17												
26	-14.81	4.60			シルト	暗灰		硬い	含水比は「中位」。粘性は「中位」。GL-27.00m付近までは細砂を薄層にて少量挟在する。GL-27.00m以深より比較的均質な状態にあり、貝殻細片が少量混入する。		24.15	3	3	3	9/30	9												
27											24.45	5	4	5	14/30	14												
											26.15	3	3	3	9/30	9												





# ボーリング柱状図

## 調 査 名

ボーリングNo 3

事業・工事名 (BMは、北館のフロアーレベルを11.10mとする)

シート No 3

ボーリング名	B - No . 3			調査位置		静岡県静岡市 葵区北安東 地先					北 緯	35° 0' 12.0 "		
発 注 機 関						調査期間	平成 17年 7月 21日 ~ 17年 7月 26日					東 経	138° 23' 8.0 "	
調 査 業 者 名						現 代 理 人			コ ア 鑑 定 者			ボーリング 責 任 者		
孔 口 標 高	10.76m	<div>角 上 下 度</div> <div><div>180°</div><div>90°</div><div>0°</div></div>	<div>方 西 東 南 北 向</div> <div><div>270°</div><div>0°</div><div>90°</div><div>180°</div></div>	<div>地盤勾配</div> <div><div>鉛直</div><div>90°</div><div>0°</div></div>	<div>使用機種</div>	試 錐 機	KR - 100			ハンマー 落下用具	半自動落下装置			
総 掘 進 長	37.50m					エ ン ジ ン	N F D - 9			ポ ン プ	V - 4			

[illegible]



# ボーリング柱状図

調査名 平成17年度 県立総合病院循環器病センター建築工事地質調査業務委託

ボーリングNo 4

事業・工事名 (BMは、北館のフローレベルを11.10mとする)

シートNo 4

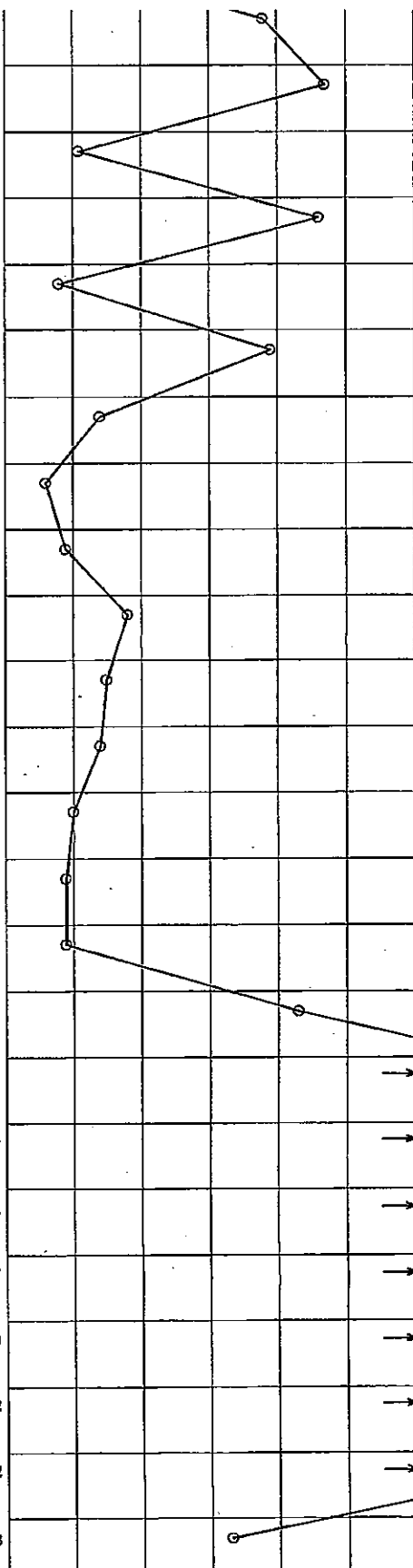
ボーリング名	B-No. 4	調査位置	静岡県静岡市 葵区北安東 地先	北緯	35° 0' 13.0"
発注機関		調査期間	平成 17年 7月 18日 ~ 17年 7月 20日	東経	138° 23' 9.0"
調査業者名		主任技師		コ ア	ボーリング責任者
孔口標高	10.92m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 0' 東 90° 南 180° 西 270°
総掘進長	37.45m	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機 KR-100
		エンジン	NFD-10H	ハンマー落下用具	半自動落下装置
				ポンプ	V6-P

標尺	標高	層厚	深度	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験					原位置試験		試料採取		室内試験(掘進月日)	
											深	10cmごとの打撃回数			打撃回数／貫入量	深	試験名および結果	深	試料採取方法		
												0	10	20							度
(m)	(m)	(m)	(m)							(m)	(m)	0	10	20	30	(cm)	(m)	(m)	番号		(m)
1	10.02	0.90	0.90		盛土	暗褐			地表面〜0.08m付近までアスファルト。0.08m〜0.35m付近は砕石。以下径2〜20mm程度の重円礫を主体とし、シルト混じり細砂をマトリックスとするシルト混じり砂礫主体層。	7/18 2.25	1.15	1	1	2	4/30	4					
2					盛土	暗灰			含水比は「低位」。粘性は「弱い」。全体的に径2〜40mm程度の重角〜重円礫及び細砂を混入する礫、砂混じりシルト主体層。	2.15	1/20	1/5	1	3/35	3						
3	8.22	1.80	2.70								2.50										
3					砂	暗灰	中ぐらい		上部付近層厚10cm程度のシルト層を挟む。細砂〜中砂を主体とし、所々礫混じり砂状を呈する部分あり。	3.15	4	4	4	12/30	12						
4	6.92	1.30	4.00								3.45										
4					シルト	暗灰	軟らかい		含水比は「中位〜高位」。粘性は「中位」。所々、腐植物を混入する。	4.15	1	1	1	3/30	3						
5	6.12	0.80	4.80						細砂〜中砂を主体とし、径2〜15mm程度の重円礫を比較的多く混入する。所々、腐植物を混入する。	4.45	4	2	3	9/30	9						
5					礫混じり砂	暗灰	緩い		含水比は「中位〜高位」。粘性は「中位」。一部、腐植物及び木片を混入する。全体的に細砂分を混入する。	5.15	2	1	2	5/30	5						
6	5.22	0.90	5.70		シルト	暗灰	中位		含水比は「中位〜高位」。粘性は「低位」。黒泥化し、腐植物を多量に含む。	5.45											
6											6.15										
7	3.92	1.30	7.00		腐植土	黒灰	中位		含水比は「中位」。粘性は「低位」。全体的に細砂及び腐植物を混入する。	6.45	2	2	2	6/30	6						
7											7.15										
8	3.02	0.90	7.90		シルト	暗灰	中位		微細砂〜細砂を主体とし、若干のシルト分を混入する。所々腐植物を混入する。	7.45	1	2	2	5/30	5						
8											8.15										
9	1.92	1.10	9.00		シルト混じり砂	暗灰	緩い		径2〜30mm程度の重円礫を主体とし、細砂〜粗砂をマトリックスとする。所々腐植物を混入する。	8.45	2	3	4	9/30	9						
9									微細砂を主体とする。	9.15											
10	0.82	1.10	10.10		砂礫	暗灰			含水比は「中位」。粘性は「中位」。腐植物を混入する。	9.45	8	8	4	20/30	20						
10											10.15										
11	0.52	0.30	10.40		砂	暗灰					10.45										
11	-0.08	0.60	11.00		シルト	暗灰	中位				11.15	1	2	2	5/30	5					
11											11.45										
12	-0.73	0.65	11.65		砂	暗灰	緩い		微細砂〜細砂を主体とし、所々径2〜10mm程度の重円礫を混入する。	12.15	2	3	3	8/30	8						
12											12.45										
13	-2.13	1.40	13.05		シルト	暗灰	中位		含水比は「中位」。粘性は「中位」。所々腐植土の薄層及び腐植物を混入する。上部付近細砂分を混入する。	13.15	1	2	2	5/30	5						
13											13.45										
14											14.15	7	15	16	38	38					



15	-3.78	0.50	14.70	砂礫	暗灰		径2~20mm程度の亜円礫を主体とし、細砂~粗砂をマトリックスとする。含水比は「中位」。粘性は「中位」。腐植物を混入する。
16	-4.18	0.40	15.10	シルト	暗灰		径2~20mm程度の亜円礫を主体とし、細砂~粗砂をマトリックスとする。含水比は「中位」。粘性は「中位」。上部付近細砂を混入する。繊維質の腐植物を混入する。
17	-5.63	1.05	16.55	シルト	暗灰	密な	径2~20mm程度の亜円礫を主体とし、細砂~粗砂をマトリックスとする。
18	-6.93	1.30	17.85	シルト	暗灰	中位	含水比は「中位」。粘性は「中位」。所々腐植土の薄層を挟む。細砂混じり。
19	-7.88	0.95	18.80	礫混じり砂	暗灰	密な	細砂を主体とし、径2~10mm程度の亜円礫を混入する。所々、微細砂の薄層を挟む。
20	-8.88	1.00	19.80	砂	暗灰	緩い	微細砂を主体とし、所々シルトの薄層を挟む。
21	-10.03	1.15	20.95				
22				砂混じりシルト	暗灰	中位、非常に緩い	含水比は「低位~中位」。粘性は「中位~低位」。少量の腐植物及び炭化物を混入する。所々、微細砂~シルト質砂層を挟む。
23							
24							
25							
26	-15.08	5.05	26.00				
27				シルト	暗灰	緩い	含水比は「低位~中位」。粘性は「強い」。少量の炭化物を混入する。深度27m付近にて貝殻片を混入する。深度28m付近微細砂の薄層を挟む。
28							
29	-18.33	3.25	29.25				
30				砂礫	暗灰	非常に密な	径2~20mm程度の亜円礫を主体とし、細砂~粗砂をマトリックスとする。深度29.25~29.35m付近微細砂層を挟む。
31	-20.68	2.35	31.60				
32	-21.28	0.60	32.20	シルト	暗灰		含水比は「低位」。粘性は「強い」。一部、腐植土層の薄層を挟む。
33							
34				砂礫	暗灰	非常に密な	径2~20mm程度の亜円礫を主体とし、細砂~粗砂をマトリックスとする。礫の最大径30mm程度。所々礫分少なく礫混じり砂状を呈する部分あり。
35							
36	-25.58	4.40	36.60				
37	-26.53	0.85	37.45	砂	暗灰	密な	微細砂を主体とし、一部シルトの薄層を挟む。
38							
39							

14.45				30	38
15.15	15	17	15	47	
15.45				30	47
16.15	4	3	4	11	
16.45				30	11
17.15	18	12	16	45	
17.45				30	46
18.15	2	3	3	8	
18.45				30	8
19.15	11	13	15	39	
19.45				30	39
20.15	3	5	6	14	
20.45				30	14
21.15	2	2	2	6	
21.45				30	6
22.15	2	3	4	9	
22.45				30	9
23.15	5	6	7	18	
23.45				30	18
24.15	4	5	6	15	
24.45				30	15
25.15	4	4	6	14	
25.45				30	14
26.15	3	3	4	10	
26.45				30	10
27.15	3	3	3	9	
27.45				30	9
28.15	3	3	3	9	
28.45				30	9
29.15	4	15	24	43	
29.45				30	43
30.15	28	28	4	60	
30.37			2	22	
31.15	29	31		60	
31.35				20	
32.15	14	26	20	60	
32.40			5	25	
33.15	26	18	16	60	
33.42			7	27	
34.15	22	20	18	60	
34.41			6	26	
35.15	26	26	8	60	
35.37			2	22	
36.15	25	28	7	60	
36.37			2	22	
37.15	8	11	14	33	
37.45				30	33



# ボーリング柱状図

# 調 査 名

ボーリングNo 5

事業・工事名 (BMは、北館のフロアーレベルを11.10mとする)

シート No 5

ボーリング名	B - No . 5			調査位置		静岡県静岡市 葵区北安東 地先					北緯	35° 0' 12.0"			
発注機関						調査期間	平成 17年 7月 30日 ~ 17年 8月 8日					東経	138° 23' 9.0"		
調査業者名						現場代理人		コア鑑定者			ボーリング責任者				
孔口標高	10.81m	<div>角 上 下 度</div> <div><div>180° 90° 0°</div></div> <td>方 向</td> <td><div>北 西 東 南</div><div><div>0° 270° 180° 90°</div></div><td>地盤勾配</td><td><div>鉛直 90°</div><div><div>水平0° 0°</div></div><td>使用機種</td><td>試錐機</td><td colspan="2">KR - 100</td><td>ハンマー 落下用具</td><td colspan="2">半自動落下装置</td></td></td>	方 向	<div>北 西 東 南</div> <div><div>0° 270° 180° 90°</div></div> <td>地盤勾配</td> <td><div>鉛直 90°</div><div><div>水平0° 0°</div></div><td>使用機種</td><td>試錐機</td><td colspan="2">KR - 100</td><td>ハンマー 落下用具</td><td colspan="2">半自動落下装置</td></td>	地盤勾配	<div>鉛直 90°</div> <div><div>水平0° 0°</div></div> <td>使用機種</td> <td>試錐機</td> <td colspan="2">KR - 100</td> <td>ハンマー 落下用具</td> <td colspan="2">半自動落下装置</td>	使用機種	試錐機	KR - 100		ハンマー 落下用具	半自動落下装置			
総掘進長	37.50m		度					エンジン	NFD - 9		ポンプ	V - 4			

[illegible]

Depth (m)	Soil Type	Color	Notes
27	シルト	暗灰	比較的均質である。GL-27.00m付近より貝殻片を混入。
28	シルト	暗灰	GL-27.90mより細砂をシーム状にて少量挟在。含水比は「中位」。粘性は「やや強い」。
29	シルト質砂	暗灰	細砂を主体とし、シルトを不均質に混入する。
30	砂	暗灰	細砂を主体とする。
31	砂礫	暗灰	非常に密な
32	礫混じり砂	暗灰	径2～30mmの亜円礫を主体とし、細砂～粗砂をマトリックスとする。全体に砂分の多い砂礫。
33	シルト	褐灰	腐植物を少量混入する。含水比は「中位」。粘性は「中位」。
34	砂	暗灰	非常に密な
35	砂礫	暗灰	非常に密な
36	礫混じり砂	暗灰	密な
37	シルト質砂	暗灰	細砂を主体とし、シーム状にてシルトを挟在。